

令和3年度 YPP（ユザワパワープロジェクト）実施状況

令和3年度では、YPPとして合計30の企画案が提出されました。そのうち、実施に向けて協議を行っているものを以下に掲載します。各企画案の概要はコードをクリックするとご覧いただけます。

分野	コード	企画案の名称	進捗状況
イベント・行事	YPP0002	ゆかた祭り	実施協議中
	YPP0008	名水『大峰清水で流しそうめん!』	実施協議中
	YPP0011	湯沢夏花火	R3.8.15 に開催
	YPP0014	湯沢中里秋祭り（都市と農山村の交流）事業	R3.10.16 に開催
	YPP0022	第七回飯士登山祭（飯士山誘客事業）	R3.11.7 に開催
	YPP0026	越後湯沢クラフトフェア 2022	実施協議中
	YPP0030	2022 湯沢中里冬花火&街中キャンドル(雪とあかり) 事業	R4.3.12 に開催
食	YPP0001	湯沢マルシェプロジェクト	R3 に合計 6 回開催
	YPP0004	湯沢のご当地グルメとして「かぐら南蛮カレー」の展開	実施協議中
	YPP0005	湯沢スイーツの開発・販売事業	R3.12.15～R4.2.16 に販売
アウトドア	YPP0003	まち歩き、登山・トレッキングのガイド組織の設立	実施協議中
	YPP0006	登山者のアクセス改善事業	実施協議中
教育・文化	YPP0010	脇本陣池田家をフォトスポットの一つとして PR する企画	実施協議中
	YPP0012	ゆざわ向上委員会（放課後クラブ）	実施協議中
	YPP0013	つちたるエリア若手経営者交流研修事業	コロナの影響により、実施を次年度に延期
	YPP0017	サブカルチャーで町おこし企画	実施協議中
	YPP0018	「ゆざわご当地かるた（仮）」	実施協議中
	YPP0020	湯沢芸術のまち化計画(仮)	実施協議中
	YPP0025	雪国館の空きスペースを活用した、体験型コンテンツの創出	実施協議中
	YPP0027	ガイドツアーの企画開催とガイドの業務委託	実施協議中
	YPP0028	川端康成・没後 50 年 記念講演会	実施協議中
	YPP0029	湯沢町“学びの集い” イベント	実施協議中
新たな施設・設備	YPP0009	雪メーター設置	実施協議中
	YPP0019	湯沢町室内スケートパーク	実施協議中
	YPP0024	湯沢観光を確立させる駅前モニュメント企画	実施協議中
その他	YPP0016	物販インターネット販売	実施協議中

YPP0001	湯沢マルシェプロジェクト	提案者	湯沢町産業観光部
目的	これまで地元野菜を使用したい事業者と、効率よく出荷販売したい農家を繋ぐ流通方法が無く地元産野菜の地産地消が進んでいなかった。これを解消することを目的とする。	企画概要	役場前広場にテント数張り、軽トラ横付けの店舗により農家直販方式、朝のうちの短時間のマルシェを開催する。生産者はスーパー等へ出荷する途中で短時間の直販を行えば負担も少なく、事業者向けの箱売りも可能。 開催告知や出店者の募集は町環境農林課がサポートし、出店者受付、地割、出店料管理、問い合わせ対応は機構が行う。
進捗状況	以下の日程・会場で「ゆぎわマルシェ」を6回開催し、地元の野菜をはじめ、和菓子、プリン、コーヒー、雪国館の工芸品等を販売した。 第1回 7月30日（金）湯沢町役場、第2回 9月10日（金）岩原トランジットセンター、 第3回 10月16日（土）中里秋祭り、第4回 10月24日（日）苗場プリンスホテル・シュネー、 第5回 10月31日（日）湯沢高原ロープウェイ乗り場、第6回 11月7日（日）飯士登山祭		

[一覧に戻る](#)

YPP0002	ゆかた祭り	提案者	ゆかた祭り実行委員会
目的	温泉街の活性化	企画概要	来年第14回となる「ハチロクゆかた祭り」。 温泉街（緒花芽）～（足湯）約300m間を16:30～22:00まで歩行者天国にし、町内外民・観光客等に、ゆかた姿で歩いてもらう。 300mの間、露店を約30店舗（的屋無し）並べ、その他4・5ヶ所で様々なイベント等を開催。実行委員会主催のクジ引きでは、大人一回100円、子供一回10円で、空クジ無しで行われ、各ホテル・民宿様より宿泊券・入浴券、他企業様からも様々な景品を多数協賛頂いており、プラス町内外各企業様より、協賛金1社10,000円を頂き（約35社）開催しております。
進捗状況	実施に向けて協議中		

[一覧に戻る](#)

YPP0003	まち歩き、登山・トレッキングのガイド組織の設立	提案者	湯沢町観光まちづくり機構 職員
目的	湯沢町の自然、歴史、文化等に触れるまち歩きと、登山・トレッキングコースを案内するためのガイドを組織化することで、観光客・登山者等に充実した時間を提供し、再び訪れたいと感じてもらえるようにする。	企画概要	湯沢町の情報を発信するとともに、直接的に体験してもらえる機会を提供できるように、地域のことを熟知したガイドが幅広いプログラムを運営できる体制を構築する。申込受付、ガイドの手配、プログラム料金の収受、ガイドへの支払いといった組織の事務局としての機能は湯沢町観光まちづくり機構が担う。
進捗状況	実施に向けて協議中		

[一覧に戻る](#)

YPP0004	湯沢のご当地グルメとして「かぐら南蛮カレー」の展開	提案者	湯沢町観光まちづくり機構 職員
目的	地元の農産物を使ったご当地グルメを開発・提供し、湯沢町の知名度アップと観光消費額の向上につなげる。	企画概要	スキー場、飲食店、宿泊施設等が連携・協働しながら、ご当地グルメをPRすることで、地域のネットワークが生まれ、協力関係が醸成されるとともに、湯沢の“食”が町民の自慢できるものとなることによつて、地域全体の活性化を推進していくことができる。カレーは、かぐら南蛮と相性がよいことに加え、性別・年代に関係なく人気があり、スキー場の“ゲレ食”の定番メニューでもある。北海道スープカレー、横須賀海軍カレー、金沢カレー、バスセンターのカレーといったご当地カレーの事例も参考にしながら、町内で食事を提供している各事業者が“かぐら南蛮カレー”をメニューに入れ、名物料理として積極的に販売する。
進捗状況	実施に向けて協議中		

[一覧に戻る](#)

YPP0005	湯沢スイーツの開発・販売事業	提案者	湯沢町観光まちづくり機構 職員
目的	湯沢町内の観光消費額向上を目的に、特産品である日本酒を活かしたスイーツを開発し、土産消費の創出、宿泊費単価向上につなげる。	企画概要	令和2年度に、湯沢町が新潟県の「観光消費額向上モデル地域」に選出され、株式会社リクルートじゃらんリサーチセンター協力のもとで本事業を開始した。これまでの検討結果を踏まえ、以下の2つの湯沢スイーツの商品化を目指す。 ・湯沢ヴェリーヌ ・日本酒クリームおはぎ 完成した商品は、開発を手掛けた参画店で販売するとともに、湯沢町内の宿泊施設及び土産物店に商品を取り扱ってもらうよう依頼し、協力・連携の意思を示してもらえた事業者と一緒に展開を広げる。(宣伝活動の例:町内で商品紹介のポスター掲示、雑誌掲載によるPR、他)
進捗状況	湯沢の地酒と酒粕を材料に、町内の和洋菓子店3店がご当地スイーツとして以下の商品を開発し、「じゃらんnet」からスイーツ付きの宿泊プランを販売した。 ・湯沢ヴェリーヌ酒々(ささ) → 販売先: HATAGO 井仙 水屋、パティスリースフェール丸屋 ・湯沢クリームおはぎ → 販売先: お菓子処かんだ		

[一覧に戻る](#)

YPP0006	登山者のアクセス改善事業	提案者	湯沢町観光まちづくり機構 職員
目的	交通手段を持たない登山客の登山道入り口までの交通アクセスの問い合わせが毎年寄せられており、コロナ禍において、以前に増して高い需要を感じた為、これを利用し、顧客満足度の向上と、収入増に結び付けたい。	企画概要	完全予約制(運行最少人員も設定する)の登山者用定期運行の実施。運行する車両は、申込のあった人数により変更する。(どこの登山道になるかにより、運行できる車両が変わる為、受付最大人数も可変となる。)運行時間は予め決定しておき、路線便のような運行形態を図る。申込はインターネットで行い(運行決定かどうか、空きがあるか等が分かる仕組みがベスト。決裁をカードで前もって行い、取り損ねが起きない形を想定。)運賃は、最少催行人数を設定する為、無理なくタクシーの単独利用より安価に実現できるのではと考えており、この為の顧客満足度向上と、利用増が見込めるのではないかと考えている。申し込みを受け付けるシステムが必要となるが、国立公園・温泉地等での滞在型ツアー・ワーケーション推進事業、国立公園等資源整備事業費補助金等の補助金が利用できるのであれば、初期投資金額も抑えた上で実現できる可能性も考えられる。
進捗状況	実施に向けて協議中		

[一覧に戻る](#)

YPP0008	名水「大峰清水で流しそうめん！」	提案者	湯沢町観光まちづくり機構 職員
目的	湯沢町民として、湯沢高原にはこれからも「椽ぎ頭の観光スポット」であってほしい。そこで、来訪者へ新たなお楽しみ企画を提供する可能性を探りたい。	企画概要	(前提)大峰山の名水と言うと、トレッキングコース湯沢Iコース途中のブナ林から湧き出でるポイントをイメージしがちですが、グリーンシーズンになると、湯沢高原内コスモスペアリフトの乗り場地点に、誰もが自由に飲用できる(汲める)「大峰山の名水」がある。このことを知っている人が意外なほど少ないが確固たる名水である。 全国各地の名水は、いわば「ペットボトル化」による販売飽和状態が起こっており、名水そのもので売り出そうとしても、もはや後発隊は収益が期待し難い。 → 高原内にて、「当地の名水」を利用し、新たな飲食スタイルを生み出せるか、その可能性を探る価値はある。
進捗状況	実施に向けて協議中		

[一覧に戻る](#)

YPP0009	雪メーター設置	提案者	湯沢町観光まちづくり機構 職員
目的	湯沢は雪国として名高いのに、特にグリーンシーズンは雪国を感じさせるものがない。湯沢のキャラはなかなかはっきりしないと言われており、視覚的に雪国を感じさせるものがあるといいと思ったため。	企画概要	冬になると常に雪に埋もれていた昔と違い、積雪対策の進んだ現代では、特に駅や街中では降雪直後以外では雪国を感じるほどの光景はなかなか見られない。また、グリーンシーズンにしか来ない人には、豪雪地帯というものにピンと来ないことも多いだろう。湯沢というキャラクターの分かりやすい部分をアピールするには人間の認識機能の半分以上を占めると言われる視覚的なものが一番分かりやすい。イメージとしては塩沢牧之通りにあるようなもの。「雪国越後湯沢へようこそ」的な歓迎文と併せて越後湯沢駅の改札出てすぐ目に入るような場所に設置できるのが理想。デザインを考えればがんどおりの雰囲気とも合うと思う。歴代の最大積雪量や、平年の積雪量、ひと晩の最大積雪量などを表示し、冬の湯沢に興味を持ってもらう。
進捗状況	実施に向けて協議中		

[一覧に戻る](#)

YPP0010	脇本陣池田家をフォトスポットの一つとしてPRする企画	提案者	湯沢町観光まちづくり機構 職員
目的	池田家には貴重な品が多いため、文化財の活用をはかると同時に来客数を増やすことを目的とする。また、写真を撮ることでSNSや口コミ等、来ていない人にも話したくなるきっかけを作り、池田家に来ることが目的の一つとなるような環境づくりを行う。	企画概要	<p>【企画内容】</p> <p>池田家全体を写真撮影可能にして、旅の記念になるような写真を撮影してもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文豪や位の高い方が宿泊されたとされる部屋で写真撮影 ・囲炉裏に座って記念撮影 ・刀のレプリカを持ち、侍気分で写真撮影 <p>【ターゲット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みのファミリー層（歴史の体験学習の一環として） ・歴史好きな方（参勤交代や山縣有朋や森鷗外が宿泊した施設だとアピールする） <p>【貸し切り】</p> <p>コスプレイヤー向けに短時間の貸し切りが出来るようにする。</p>
進捗状況	実施に向けて協議中		

[一覧に戻る](#)

YPP0011	湯沢夏花火	提案者	越後湯沢温泉観光協会
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の住民の還暦や厄払い・成人式・お祝い事などの例年の花火を上げる ・地域の飲食や宿泊の増加 	企画概要	<p>2年連続で夏祭りが中止になれば、毎年楽しみにいらっしゃるお客様が湯沢から離れていく引き金になりかねません。夏祭りのメイン行事である花火だけでも実施することにより、お盆期間中の誘客につなげるため、又来られたお客様が湯沢はしっかりとコロナ対策をしながらイベントを実施しているという安心感にもつなげます。</p> <p>ソーシャルディスタンスをとりながら花火を鑑賞することでアフターコロナ禍における来町数の回復も目指します。合わせてコロナ禍の中で落ち込む観光事業者等(町民意識)に少しでも復活の機会を与え、安心安全な湯沢町で商売が続けられるよう夏花火大会を実施します。</p>
進捗状況	2021年度の夏祭りは中止することとなったが、夏花火の打ち上げは、三密を避けてもらうよう周知したうえで、8月15日(日)に実施した。		

[一覧に戻る](#)

YPP0012	ゆぎわ向上委員会(放課後クラブ)	提案者	町内宿泊事業者
目的	湯沢の高校生の目線で映えスイーツや映えスポットの開発やイベントの提案などを行い、それらをSNSで発信するほか、高校生のネットワークを活用した若年層での告知・周知を行う。	企画概要	<p>高校生が放課後のクラブ活動として湯沢の魅力づくりを楽しみながら、企画・開発をしてもらう。主に映えスイーツの開発や、映えスポットの提案を行い、それらについてSNSなどを中心に発信する。</p> <p>また、この事業は高校生たちが自ら企画や開発に携わることで湯沢をより知り、湯沢を自慢できるようになって欲しいとの願いでもある。</p> <p>中学生までは湯沢学園に通うことから地域との交流があり、また、学校行事でも絆活動や観光ボランティア活動などが行われているが、高校生になると町外に進学することとなり、地域との交流も大きく減少してしまう現状がある。</p> <p>そのことから、高校生が町内の事業に関わる仕組みを作ることで、子どもたちが継続的に町や町民との交流を図る機会を設ける。</p> <p>また、その後社会人として地元で就職した場合にはALL youthの取組も既存で行われていることから、その活動との橋渡しの役割も兼ねることができたらと考えている。</p>
進捗状況	実施に向けて協議中		

[一覧に戻る](#)

YPP0013	つちたるエリア若手経営者交流研修事業	提案者	湯沢つちたる観光協議会
目的	地域の将来を担う次世代経営者の交流と地域観光資源の再発見や文化風土の継承等を図り、地域の発展に寄与する。	企画概要	現在、中里及び岩原観光協会では、青年部を立ち上げ準備を進めている。両青年部を核に土樽地域の若手経営者による、交流・講習・研修・資源活用等の下記事業を行う。 1) 講習会（郷土料理研修：そば打ち体験講習、みそ作り体験講習等） 2) 研修会（先進地研修、おもてなし研修、観光資源研修会等） 3) 交流会（意見交換会、健康増進交流会） 4) 研究会（地域観光資源の活用、地域共有イベント、特産メニュー開発等） 他
進捗状況	コロナの影響により、実施を次年度に延期		

[一覧に戻る](#)

YPP0014	湯沢中里秋祭り（都市と農山村の交流）事業	提案者	湯沢つちたる観光協議会
目的	地域の特産品や観光施設資源等を周知し、都市と農山村の交流を図る。	企画概要	秋の新潟魚沼(主に湯沢)地域の食と物産の周知や冬季シーズン等への誘客事業 1) 地域食材飲食ブース 2) 体験ブース（笹団子作り等） 3) 地域食材を使った上越線開通 90 年記念駅弁販売（予約制） 4) 物産ブース（軽トラ市等）※湯沢産新米、特産品等の販売 5) 冬季シーズン観光ブース（町内スキー場 PR コーナー等） 6) 交流等関連事業 ① 生産者及び生産地表示(掲示)の推進 ② 南雲喜之七と上越線開通 90 年パネル展(同時開催：湯沢の原風景「川上四郎関連作品展示」他
進捗状況	令和 3 年 10 月 16 日（土）に湯沢中里リゾートを会場に開催した。会場では、YPP0001「ゆざわマルシェ」を並行して開催した。 http://www.nakazato.com/event/autumn/images/aki_matsuri.pdf		

[一覧に戻る](#)

YPP0016	物販インターネット販売	提案者	湯沢町観光まちづくり機構 職員
目的	グッズなどを作って販売をすとなつた時に物販のネット販売を行うことで商品を購入しやすくする。	企画概要	湯沢までくることが困難な方でも気軽に商品を購入することができる。 雪国館で販売している商品の購入をしたいが来館が難しいので、商品を送ってほしいと電話が入ることがある。そういった方には、代金の振込みをしてもらった後に商品を送っている。 まずは雪国館の商品から販売を始めて、今後グッズ等を作製した際に活用出来る。
進捗状況	実施に向けて協議中		

[一覧に戻る](#)

YPP0017	サブカルチャーで町おこし企画	提案者	湯沢町観光まちづくり機構 職員
目的	東京オリンピック開会式の入場行進にゲーム音楽が採用されるなど、映画、ゲーム、アニメ、マンガ、コスプレ、舞台（ミュージカル）などのサブカルチャーは今や日本が世界に誇る文化となっている。それらサブカルチャーを通じた町おこしを行う。	企画概要	（１）湯沢町フィルムコミッション事務局の立ち上げ映画やドラマ、CMなどのロケーションを誘致するとともに、撮影がスムーズに進行するようサポートするワンストップ窓口を設ける。 （２）アニメ・マンガ等とのコラボレーション企画 （３）コスプレ映えスポット探索
進捗状況	実施に向けて協議中		

[一覧に戻る](#)

YPP0018	「ゆざわご当地かるた（仮）」	提案者	湯沢町観光まちづくり機構 職員
目的	湯沢の情景や文化・歴史、特産などを詠んだ「ご当地かるた」の制作・販売・普及・情報発信を通じて、幅広い層に分かりやすく、親しみやすい形で、地域の魅力をPRし、湯沢への関心を深めてもらう。	企画概要	「ご当地かるた（郷土かるた・地域かるた）」は、地域の魅力を、コンパクトな文章とイラストで簡潔に伝えることができ、全国各地で千数百程の数が制作されてきたといわれている。 （NPO 法人「日本郷土かるた協会」HP 参照 http://www.kyoudo-karuta.com/ ） 地域 PR のツールとして目新しいものではないが、昨今の新型ウイルス蔓延による外出自粛の影響もあり、家庭内で親子がコミュニケーションをとりながら楽しめる遊び道具としての関心が高まっていることや、「ちはやふる」（競技かるたを題材にした漫画/映画）のヒットなどから、かるたは日本独自のカードゲームとして、世界でも注目されているので、国内外への湯沢のPRのきっかけになるものとして考える。
進捗状況	実施に向けて協議中		

[一覧に戻る](#)

YPP0019	湯沢町室内スケートパーク	提案者	湯沢町ストリートスポーツ委員会
目的	室内スケートパークを作り、地域のユーザーへ向けたストリートスポーツの遊び場、練習場の確保と、新たな観光コンテンツ（スポーツ観光）としての集客を目的とする。	企画概要	湯沢中央公園の高架下の駐車スペースを一部、湯沢町から占有してスケートパークを管理しております。子供から大人、家族連れにもご利用いただいております。ただ利用者の増加に伴い現在のスケートパークの敷地範囲では十分な練習、遊びが出来なくなっていることから、湯沢町で所有する屋内スペース等を新たに占有し、スケートパーク施設を新たに作りたいと考えております。
進捗状況	実施に向けて協議中		

[一覧に戻る](#)

YPP0020	湯沢芸術のまち化計画(仮)	提案者	町民
目的	湯沢町をアーティストの作品発表の場とし、観光振興やシビックプライドの醸成につなげる。新しい観光スポットの設定や既存のスポットのアップグレード、若返りを図る。通年観光や無雪期の誘客、雨天時の行き場の無さなどの弱点を克服する	企画概要	湯沢町の観光振興を考えた場合、ハードウェアは一定のボリュームがあると考えますが、反面ソフトウェア的な部分の弱さを感じる。芸術作品を通じてコト消費にシフトすることで持続性のある観光立町を目指す。具体的には以下のような施策を段階的に実施する。 1) シャッターアート 2) パブリックアート 3) アーティストインレジデンス
進捗状況	実施に向けて協議中		

[一覧に戻る](#)

YPP0022	第七回飯士登山祭（飯士山誘客事業）	提案者	登山祭実行委員会 委員長
目的	町トレッキングコースでもある飯士山（標高 1111m）の認知度を向上させ、湯沢町自然環境保全基金の活動を知って頂く場として保全基金への協力をお願いし、今後の飯士山の環境保全及び町内観光の1つにしていくことを目的とする。	企画概要	毎年11月11日を、岩原のシンボルである飯士山（標高 1111m）の日として設定し、清掃登山を兼ねた『飯士登山祭』を開催する。 参加者には、湯沢町環境保全基金に協力していただき、今後の飯士山の整備、環境保全に役立てる。 1. 清掃登山（自由参加） (1) 祈願ブース（神事スペース：手合わせ・米撒き・祈願） (2) 観光協会ブース ① 振る舞い：飯士めし（おにぎり）・豚汁・甘酒 ② 協会加盟施設 PR コーナー ③ 岩原スキー場 PR コーナー ③ 飯士山環境保全基金紹介コーナー (3) ゆざわマルシェとのコラボ ① ゆざわマルシェ ② 協会員物販コーナー
進捗状況	令和3年11月7日（日）に岩原スキー場を会場に開催した。会場では、YPP0001「ゆざわマルシェ」を並行して開催した。 https://yuzawa.jp/iijisan/iijitozansai.pdf		

[一覧に戻る](#)

YPP0024	湯沢観光を確立させる駅前モニュメント企画	提案者	ALL YOUTH YUZAWA
目的	<ul style="list-style-type: none"> - 観光客に思い出は提供できているが、具現化された形ある思い出の提供が弱い - 来訪客が写真撮影をしても「越後湯沢」に来た、とひと目でわかる撮影スポットがない - 新聞や TV などのメディアが取材しても「越後湯沢」だと視聴者に伝わりづらい - メディアとユーザーを巻き込めないので、いつまでも「スキーと温泉の町」から脱却できない <p style="text-align: center;">↓□</p> 湯沢町という観光地の再生とシティプロモーション	企画概要	コロナ感染で精神的に疲弊している昨今だからこそ、駅前に観光モニュメントを他地域よりも先駆けて整備することで、観光客の満足度や観光地としてのブランディング向上を通じた町内全域の経済活性化を図る 【解決すべき重要な課題とターゲット顧客・ユーザー(10月24日駅中アンケート実施)】 ①景観写真や記念撮影もしていない観光客が 28.7% ⇒ 紅葉シーズンにも関わらず撮影率の低さ ②写真撮影と SNS 投稿をしていない観光客が 52.2% ⇒ 撮影スポットと SNS 投稿の促し ③湯沢関連の SNS 投稿は景観が大半で、観光客同士の記念写真が 15% ⇒ 記憶という思い出に依存 ④50,60 代の SNS 利用者は 3 割を超えており、SNS での旅行収集も 60% ⇒ 情報収集のデジタル変革 【重要テーマ・指標項目】 大枠の重要 3 テーマ： →1.シビックプライドの向上・醸成、2.滞在型観光集客、3.経済活性化 8 セグメントの指標項目： →1.地域力の向上、2.新たな観光コンテンツの創出、3.町ブランドイメージの向上 →4.企業参加の増加、5.NPO 等の活動活性化と連携促進、6.ライフスタイルの多様化 →7.観光関連産業の拡大、8.経済活動の拡大
進捗状況	実施に向けて協議中		

[一覧に戻る](#)

YPP0025	雪国館の空きスペースを活用した、体験型コンテンツの創出	提案者	ALL YOUTH YUZAWA
目的	<ul style="list-style-type: none"> - 湯沢町の生活文化の継承と発信 - 「雨の日に観光できるスポットが少ない」というお客様の不満を軽減させる - 天候の悪い日でも、宿泊事業者がお客様に提案できる選択肢を増やす - 天候の悪い日に、越後湯沢駅に集中するお客様の流れを、西山通りに呼び戻す 	企画概要	国館の空きスペースで、お客様が体験して楽しめる企画を行う ・箕/菅笠/かんじき 試着体験と写真撮影 ・かんじき編み体験 ▼教え役 ・湯沢町在住の高齢者 および 体験指導ができる方 ▼場所 雪国館 1 階 倉庫スペース など ※体験料は、いずれも有料 ※雪国文化に詳しい学識経験者と協議し、体験メニューを順次増やしていく ※加えて、展示説明板の視認性向上など、細かな改善も協議していく
進捗状況	実施に向けて協議中		

[一覧に戻る](#)

YPP0026	越後湯沢クラフトフェア 2022	提案者	割野きのご組合
目的	<p>目的 新たなイベントを開催することにより、湯沢町における新たな客層開拓及びその後の集客につなげる。</p> <p>背景 湯沢町周辺では、長岡市で5月10日前後(3日間開催)(2021実施、2022は6月)、津南町で9月10日前後(2日間開催)(2021中止)に開催されていて、多数の来場者がある。また、長野県松本市のクラフトフェア(5月末)(2日間)(2021中止)は、4万6千人(2017)の来場者がある。このクラフトフェアを、交通網が発展していて、大規模な宿泊施設もある湯沢町において実施すれば、新たな客層開拓及びその後の集客につながるコンテンツになるのではないか、と考えた。</p>	企画概要	<p>○開催時期 令和4年●月(松本市、長岡市、津南町と被らない時期に) ●日間</p> <p>候補 花まつりの代替として、4月29日 閑散期の集客対策として、6月 秋桜マラソンの代替として、9月下旬 こらっしゃい湯沢収穫祭の代替として、 10月中旬</p> <p>○会場 湯沢中央公園芝生広場(オーロラ向い)</p> <p>○レイアウト 会場内に作家の出展ブースと飲食ブースを設置</p> <p>○来場者向け宿泊プランの造成、販売</p> <p>○同時開催で「湯沢マルシェ」を実施すると、来場者に好評かも。</p>
進捗状況	実施に向けて協議中		

[一覧に戻る](#)

YPP0027	ガイドツアーの企画開催とガイドの業務委託	提案者	湯沢町観光まちづくり機構 職員
目的	<p>雪国館の来館者を含め、湯沢町への来訪者で「なにか良い観光スポットはないか」と問われても、紹介できるものが少ない。時期によっては「ほとんど無い」と答えざるを得ない。</p> <p>これを解消するため、気軽に申込でき、臨機応変に対応できるシステムを構築する。</p> <p>ガイドのプロフェッショナルに委託することにより、成功事例を作り、今後の観光について在り方を考えられるような取り組みをしたい。</p>	企画概要	<p>ガイドツアーの企画案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いまの湯沢と川端康成『雪国』の時代 ・中里の瑞祥庵、石川雲蝶作の仁王像(タクシープラン) ・中里の瑞祥庵、石川雲蝶作の仁王像(電車プラン) ・中里の瑞祥庵、石川雲蝶作の仁王像(現地プラン) ・町唯一の小林源太郎作品(町指定文化財)、元三国峠権現堂扉
進捗状況	実施に向けて協議中		

[一覧に戻る](#)

YPP0028	川端康成・没後50年、記念講演会	提案者	湯沢町観光まちづくり機構 職員
目的	世界的に著名な文豪、川端康成が訪れた湯沢町として、全国に向けてPRを行う。 有名な作家を起用すれば、話題になると考える。取材の可能性が高いのは、新聞媒体、テレビ媒体他。広告費換算すれば、莫大な効果がある。	企画概要	川端が亡くなったのは昭和47年(1972年)4月16日、来年度(2022年)が50年忌となる。記念の年として、講演会を開催する。 それにあわせて、雪国館では2022年度の前期特別展にて「川端康成が見た湯沢(仮題)」を開催する。
進捗状況	実施に向けて協議中		

[一覧に戻る](#)

YPP0029	湯沢町“学びの集い”イベント	提案者	学びの集い実行委員会
目的	湯沢町の子ども1人1人に合った教育サービスを提供し、昨今問題となっている地方の教育格差を解消するため。 子育て世代は、ならいごと教室を探す際にインターネットで情報検索を行うのが主流となったが、地方の場合実在するはずの教室がほとんど載っていないことが多い。(地方の教室運営者は、子どもの母数が少ないため有料でネット広告の掲載をするメリットがない) そこで起きている「情報を知りたい保護者」と「情報をうまく発信したい教室運営者」をつなげるために、町内のならいごと教室が集まるイベントをすることで情報不足を解消することが出来るのではないかと考えた。	企画概要	湯沢町内のならいごと教室(スポーツ・音楽・芸術系含む)ジャンルを問わず、町内で学びを提供する事業者を一堂に集結させ、学びを提供したい人と学びたい人のマッチングを提供するイベント。 ・希望日時:3月19日(土)13:00-16:00 (※会場状況やコロナウイルス感染症拡大に伴う変更の可能性有り) ・場所:カルチャーセンター小ホール ・対象:幼児・小学生とその保護者 ・出展数:12教室(目安) 湯沢町内のならいごと教室(学習塾・スポーツ・芸術系等)に出展依頼予定 ・※会場やコロナウイルス感染症の都合上、出展数制限をかける可能性有り ・出展料:1ブース 3,500円(税込) ※パンフレットやチラシを置くのみの場合、無料 ▼下記イベント実施案 ・イベントスペースを利用したプチ体験会(対面での教室説明) ・子ども縁日の開催 ・学習や生活の役に立つグッズの譲渡会 など
進捗状況	実施に向けて協議中		

[一覧に戻る](#)

YPP0030	「2022 湯沢中里冬花火&街中キャンドル」(雪とあかり) 事業	提案者	中里観光協会
目的	機構が行う「冬花火」との連動として「雪とあかり」をテーマに、キャンドル(機構から提供)を活用し、地域への誘客促進を図る。	企画概要	<p>中里地区の冬季の魅力づくりを「雪と明かり」をテーマとし、キャンドル(街中キャンドル)を通して、地域の冬の賑わいを創出する。</p> <p>主な取り組み</p> <p>3月12日の湯沢中里スキー場冬花火に合わせ、地域内の4ブロックと駅等において、街中に協会員による雪オブジェやキャンドル(街中キャンドル)による演出等を行い、リピートに繋げる。</p>
進捗状況	<p>令和4年3月12日(土)に、湯沢中里スキー場での冬花火とあわせて開催</p> <p>https://www.facebook.com/events/286351723358921?ref=newsfeed</p>		

[一覧に戻る](#)